

令和2年度 事業報告

学校法人 函館国際学園

(1) 予算執行状況

- ① 遠隔授業システム早期導入により万一の学校閉鎖に対する備えはほぼ完了。幸い現状では通常の対面授業が円滑に行われる状態にて、システムは授業改善を模索する契機となっている。
- ② 毎年秋に実施するウラジオストク本学への留学がコロナ禍で見送りとなったために、留学予定期間を利用して授業を前倒しして行い留学再開に備えたものの、未だウラジオストク本学での感染状況も渡航制約も好転せず、本学の状況改善を待つ間、遠隔授業で代替することを模索する。
- ③ 学内外の行事やインターンシップ、学生募集、入試、等は校内のインターネット環境の整備にスピード感をもってあたったことで一定の効果が上がっている。
- ④ ユーチューブを利用した動画配信を利用することとして、市内の動画制作会社に発注して製作した動画は学生たちの協力を得て順調に撮影が進んでおり、既に一部は公開されて学生募集に効果を上げ始めている。
- ⑤ 3密を防ぐ為には適当でないロシアセンターの補完のために3階の講堂に導入した75インチ大型TVによるパワーポイントや動画は病欠講師の代替で臨時任用した講師の遠隔授業、外部社会人による特別講義、等に対面と遠隔を問わず期待した機能を発揮している（杉本、日銀、プラーソル、ABFG-Day）
- ⑥ ロシア人教授1名が3月31日をもって退職することにより教員の補充のために非常勤講師2名を雇用したが、これによる給与を含む経費面の得失は令和3年度に発生し、今期に影響はない。病欠教員の代替授業で教員1名を短期雇用したことによる経費面での得失も病欠教員が再雇用契約（コマ単価契約）であるため得失は僅少。

(2) 事業推進

コロナ禍で予定した事業の推進には少なからず制約が発生しているものの、ウラジオストク本学への留学や日本たばこ産業、双日、東洋トランスのロシア会社へのインターンシップを除いて、基本的な事項については実施できました。

- ① ロシア語市民講座（9月より再開、参加は前期18名、中期17名、後期18名）
- ② はこだてベリョースカクラブ（9月より再開、19名参加）
- ③ 学報ミリオン・ズビョースト103号～106号発行済
- ④ 市内小学生向け「夏休みマトリョーシカ絵付け教室」（8組参加）開催済
- ⑤ 柏稜高校生の訪問あり学校紹介（2年生2名）済
- ⑥ 白百合高校生の訪問あり学校紹介（1年生約80名）済
- ⑦ 遺愛女子高校校内ガイダンスへの参加（1年生4名、2年生5名）済
- ⑧ ロシア大使館の企画であるプーシキン大学のオンライン授業に学生4名（内1名は科目履修生）が選抜され全員が修了証書受領。
- ⑨ 就職支援活動を新体制で活性化（局長＋本間相談員）
- ⑩ ウラジオストク本学から例年受け入れている留学生は日ロ双方の合意のもとに延期。
- ⑪ 日本たばこ産業（JT）および総合商社双日とのインターンシップは各社の東京本社と当校間のZoomにより行った（それぞれ学生5名が参加）。
- ⑫ 日銀函館支店長による経済と金融をテーマの特別講義を全学生対象に行った。
- ⑬ 北連各バーチャルガイダンス参加（高校生のための進学ガイダンス）

(3) 学生数の異動状況

（年度当初）在籍31名 （年度末）在籍27名
毎年のように脱落者を見る学生数は本年度の後期開始時点で4名（内1名は前期休学者）に止まっており教職員の指導努力の成果がみられます。

- ① 学生募集の状況については、その手段として重要なオープンキャンパスは7月には遠隔で行い、さらに9月にはコロナ状況が好転した場合に函館校にて対面で実施して両回とも好評を得ている。
- ② 学校推薦を除いた応募者はすべて遠隔で面接に重点をおいて行って志望者の適正を判断。志望者には卒業へのハードルをクリアするには入学後の努力次第であることを敢えて説明。

学 年	1 年		2 年		3 年	4 年	合 計
	ロシア語科 211	地域学科 411	ロシア語科 221	地域学科 421	地域学科 431	地域学科 441	
年度当初	3 (休0)	7 (休1)	4 (休1)	7 (休1)	6 (休0)	4	31 (休3)
年 度 末	1 (休0)	7 (休1)	4 (休0)	6 (休0)	5 (休0)	4	27 (休1)

(4) 就職支援活動状況

コロナで変容する労働環境や雇用形態に注意を払いながら学生の就職活動をサポートしております。4年生4名と2年生1名が内定。

- ① 事務局による個別相談： 求人の発掘、会社選別や就職対策の指導、メンタル面の管理
- ② 学識経験者（本間相談員）就職支援： 履歴書の書き方、面接指導、個別相談
- ③ 市内合同企業説明会への参加誘導
- ④ インターンシップへの参加誘導
- ⑤ 学生の進路希望についてのアンケートを分析して対応
- ⑥ 3月1日解禁の企業説明会、就職相談会への参加を学生に推奨
- ⑦ 「企業と学生の交流会」実施（1年生対象）

(5) 学生の活動状況

「学生自治会」の活動と教員事務局の活動を見直し、融合させて活動が活性化しつつあります。学生の自立心を高めることを目標に指導しております。

- ① 卒論アーカイブ整理：当校創立から今までに卒業生が残した卒業論文をコロナで夏休みにも帰省できずにいる自治会学生と事務局が協力して200編を超える卒論を整理した結果もあり、学生の認識が従来より向上。
- ② 学校紹介ビデオ作製：学生有志に業者の撮影ノウハウが伝授されながら1年間のサイクルで共同撮影する事業は快調に進行中。
- ③ 昼食供給プロジェクト：JASSO(日本学生支援機構)の学生支援事業の一環により学生生活に資するための支援金が供与され、学生が自主的に昼食を供給し金銭管理をした経験を生かして、さらに12～1月の昼食代を自治会費残積立金から供給する第2弾に発展。
- ④ 全道ロシア語弁論大会・優勝（3年生）
- ⑤ キャンパスコンソーシアム函館（CCH）主催のアカデミックリンク発表会（オンライン）へ参加（11月28日～12月20日）。
- ⑥ 税関・コンテナヤード見学（講師1+学生7） 10月実施済
- ⑦ 全学生対象の特別授業「ロシア音楽紀行」 10月実施済

- ⑧ 客員教授による「日ロ貿易論」(WEB講義) 11月実施済
- ⑨ 校内の学習発表会 A B B Γ - D a y の開催 12月実施済
- ⑩ 「ロシアまつり」開催(会食、出品店なし、屋外のみ) 2月実施済
- ⑪ 日本銀行函館支店長講演「経済って何?金融って何?」 2月実施済

(6) 教育活動、地域貢献等

- ① ピアノ・バイオリンによるコンサート「極東の窓」から2:市民と学生、教職員を対象で実施済
- ② 図書館合同LL研修会への参加 R3/3月実施済
- ③ はこだてLL文庫の開催(WEB) 10月~11月
- ④ 西高校出前講座へ講師派遣(3名) 9月実施済
- ⑤ 税関職員受託事業(ロシア語研修) R3 1~3月実施済

・ロシア語市民講座:4コース開設 実施

	入門(夜)	初級	中級	上級	合計
前期(7月~9月)	3	3	6	6	18名
中期(9月~12月)	2	3	7	5	17名
後期(1月~3月)	3	3	7	5	18名

・ベリョースカクラブ(文化講座)一年5回実施:受講者 19名

1	初めて露和辞典をつくった男、ゴンザ	9/28
2	ロシアの記念碑を見て、ロシアの文化を勉強しましょう	10/19
3	ロシアのお茶と歴史と伝統	11/16
4	20世紀におけるロシアのジャズ歌手 レオニード・ウチョーソフ	1/18
5	プーチン政権について/ロシア・マスコミ界のあれこれ	2/15

(7) 学生募集活動

コロナ終息が見通せないなかで状況によって対面と遠隔を使い分けながらの対応を続けることになりました。

① パンフレット等の送付

高等学校宛:599校

(一般校215校、指定校295校、通信制各キャンパス89校)

資料請求者宛:110件

② 学校訪問

市内高等学校訪問(担当者およびロシア人教員の組合せで15校実施)

- ③ WEB オープンキャンパス実施：7月11－12日及び18－19日
- ④ WEB 随時の個別相談会8/22（土）実施
- ⑤ オープンキャンパス実施：9/27実施済
- ⑥ 学生アンケート（新入生対象、8月実施）の結果と考察

（8）理事会・評議員会等の開催状況

月 日	会 議	議 題
5月7日	会計監査	令和元年度 財産状況・業務執行状況監査
5月27日	理 事 会 評議員会 (書面協議)	役員人事 令和元年度 事業報告および決算報告 令和2年度 事業計画(案)および予算(案)
11月25日	理 事 会 評議員会	令和2年度 事業中間報告及び決算見込
令和3年3月24日	理 事 会 評議員会	令和2年度 事業報告及び収支決算見込み

（9）官公署認可・届出

事 項	内 容	所管官公署	年 月
役員変更登記	理事長交代に伴う変更	法務局	令和2年6月
資産総額変更登記	令和元年度決算による変更	法務局	令和2年6月